

Kenko

ケンコー COMBOフィルムスキャナー




KFS-14C5L

取扱説明書



このたびは本製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。
ご使用前には必ず取扱説明書をよくお読みいただき、安全に正しくお使いください。

本書の早見表

セット内容  ▶ 8	各部の名称  ▶ 9	USB充電器の 取り付け  ▶ 11	電源のオン/オフ  ▶ 12	SDHCメモリーカード (別売)を使用する  ▶ 17	SDHCメモリーカード のフォーマット Format  ▶ 18
SDHCメモリーカード を取り付ける  ▶ 19	リチウムイオン 充電電池の取り付け  ▶ 20	リチウムイオン 充電電池の充電  ▶ 21	日時の設定  ▶ 22	フィルムホルダー にセットする  ▶ 23	フィルムを スキャンする  ▶ 26
解像度設定  ▶ 28	露出設定  ▶ 29	色調設定 RGB ▶ 30	写真プリントの 装着  ▶ 31	写真プリントを スキャンする  ▶ 32	写真サイズ PHOTO: 4×6" ▶ 34
ファイルの再生  ▶ 37	パソコンとの接続  ▶ 41	テレビと接続 HDMI ▶ 43	故障かな? と思ったら  ▶ 45	主な仕様 SPEC ▶ 49	

目次

はじめに	05	6コマ用ホルダーにセットする	24
安全上のご注意	06	フィルムホルダーを挿入する	25
本製品の紹介	08	スキャンする	26
セット内容	08	フィルムをスキャンする	26
各部の名称	09	フィルム選択の手順	27
ご使用の前に	11	解像度の設定	28
電源(USB充電器)の取り付け	11	露出の設定(EV)	29
電源のオン/オフ	12	色調(RGB)の設定	30
ボタンの機能を紹介します	13	写真プリントの装着	31
スイッチの機能を紹介します	14	写真プリントをスキャンする	32
LEDインジケータ表示	14	写真プリントスキャンモードの画面表示	33
SDHCメモリーカードを使用する前に	15	写真サイズ選択モード	34
ファイル名/ディレクトリ名を変更しない	16	カードロック	35
SDHCメモリーカードを使用する	17	カードエラー	36
SDHCメモリーカードのフォーマット	18	カードフル	36
SDHCメモリーカードを取り付ける	19	再生モード	37
リチウムイオン充電電池の取り付け	20	ファイルの再生(フォトフレームモード)	37
リチウムイオン充電電池の充電	21	ファイルの削除	39
日時の設定	22	一枚削除	39
フィルムホルダーにフィルムを取り付ける	23	全て削除	40
マウント用ホルダーにセットする	23		

目次

パソコンとの接続	41	オプション	52
パソコンと接続する	41	オプション製品	52
USBモード	42	保証規定	53
USBモード	42		
テレビと接続する	43		
テレビにHDMIで接続する	43		
プリントする	44		
プリントする	44		
故障かなと思ったら	45		
こんな時は	45		
付属清掃用ブラシの使用方法	47		
記録可能枚数の目安	48		
記録可能枚数の目安	48		
仕様	49		
仕様	49		
同梱品	50		
パソコンの動作環境	51		

はじめに

このたびは本製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
また、お読みになったあとは、いつでも見られるところに大切に保管してください。

ご使用前にお読みください。




- 本製品の故障およびその他の理由により生じた画像データの破損、消失による利益損失、損害などに関し、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本製品の使用および故障により生じた直接、間接の損害に関し、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 取扱説明書の誤りなどについての補償はご容赦ください。
- 本取扱説明書の図、写真、パソコンディスプレイの画面などは説明のために作成したものです。一部実際とは異なります。
- 本取扱説明書の内容の一部もしくは全部を無断で複写することは、個人で楽しまれる場合を除き禁止されています。
- 製品改良のため予告なく外観、仕様などを変更することがあります。
- 商標について
 - ・HDMI、HDMI ロゴ、および High-Definition Multimedia Interface は、HDMI Licensing Administrator, Inc. の商標または登録商標です。
- その他、本製品に記載のシステム名、商品名および会社名は各社の商標または登録商標です。
- 液晶モニターに使用されている液晶パネルは、非常に高精度な技術で作られておりますが、画素欠けや常時点灯する場合があります。使用部品メーカーの保証値となります。また記録される画像には影響されません。



安全上のご注意 必ずお読みください。

本製品を安全にご使用いただくために、下記の項目をご使用前に必ずお読みになり、正しくお使いください。

本製品を正しくご使用いただき、お使いになる人や他の人々への危害と財産への損害を未然に防止するために、次の絵表示で説明しています。

 危険	 警告	 注意
この指示に従わないで誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う切迫した危険の発生が想定される内容です。	この指示に従わないで誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。	この指示に従わないで誤った取扱いをすると、人が障害を負う可能性または、物的損害が生じる可能性が想定される内容です。

危険

- 可燃性ガス、爆発性ガスなどが、大気中に存在する恐れのある場所での本製品の使用はおやめください。引火・爆発の原因となります。
- 本製品を分解したり、直接ハンダ付けするなどの加工および、火中投入などは行わないでください。発熱、発火、破裂の危険があります。
- 本製品を高温の場所（真夏の車内、窓辺、暖房器具のそばなど）で使用、保管しないでください。

警告

- 本製品を足場の悪い環境や、不安定な場所で使用しないでください。事故の原因となります。
- 本製品は防水構造ではありません。水をかけたり、濡らしたりしないでください。製品内部に水が入ると火災や感電、故障の原因となります。
- 本製品に何らかの液体が入った場合、使用を中止してください。電源を切り、お近くの販売店にお問い合わせください。
- 感電の恐れがありますので、濡れた手で本製品を触らないでください。
- 本製品の分解や改造は行わないでください。火災や感電、故障の原因となります。内部の点検や修理は販売店もしくは当社までご依頼ください。
- 本製品を使用中に落雷の恐れがある場合、すみやかに使用をやめてください。事故の原因となります。
- 本製品を使用しない場合でも3カ月に1度は充電電池を充電してください。定期的に充電しないと充電機能が衰えることがあります。



安全上のご注意 必ずお読みください。

警告

- 異常、故障時はただちに使用を中止し、USB充電器、USBケーブルを抜いてください。
- 写真プリントをセットする際、本体と写真プリントホルダー間に指をはさまないでください。ケガの原因となります。
- 小さな付属品を飲み込む恐れがありますので、お子様やペットの手の届く範囲に本製品を放置しないでください。
- ケーブルが首に巻き付くと窒息の危険があります。お子様の手の届かないところに保管してください。
- ポリ袋(包装用)などを小さなお子様の手の届くところに置かないでください。口にあてて窒息の原因になることがあります。

注意

- 付属のUSB充電器以外使用しないでください。付属のUSB充電器以外を使用すると故障の原因になります。
- 本製品は精密な電子機器です。以下のような場所で使用したり放置すると火災や感電、故障の原因となることがありますので避けてください。
●砂、ほこり、ちりの多い場所 ●火の近く ●湿ったところ ●振動の激しい場所 ●温度・湿度の変化が激しい場所
- 車内は、温度変化が激しく高温あるいは低温になり振動もありますので、使用および保管は避けてください。
- 本製品を落としたりぶつけたりして強い振動や衝撃を与えないでください。
- 電極部分などには一切触れないでください。感電や故障の原因になります。
- 本製品を保管するとき、上に重い物を載せないでください。故障の原因になります。
- 本製品に付属のケーブルを接続するとき、無理矢理入れたりしないでください。故障の原因になります。
- ケーブル等を持って振り回さないでください。他人に当たり、けがや事故の原因となることがあります。
- 平らで安定した場所に設置してください。不安定な場所に置くと転倒、故障、事故の恐れがあります。
- 長期間(1カ月以上)使用しない場合は、必ず本製品から充電電池を取り出してください。

その他のご注意

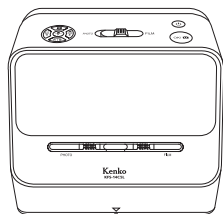
- スキャンするフィルム、プリント、撮影条件等によりデータ容量が異なります。
- 本製品の液晶モニターが汚れたとき、市販のクリーニングクロスで拭き取ってください。
- ラジオやテレビのお近くでお使いになると、受信障害を引き起こすことがあります。
- 経年劣化しているフィルムをご使用されますと、全体が偏った色になったり褪色した画像データになる可能性があります。

本製品の紹介

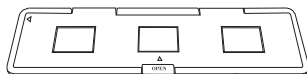
▶ セット内容

以下のセット内容が揃っているかご確認ください。

万一、不足しているものがあれば、ご購入店またはケンコー・トキナーお客様相談室までお申し付けください。



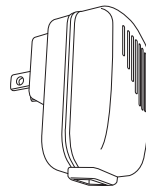
本体



マウント用フィルムホルダー



6コマ用フィルムホルダー



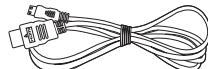
USB充電器



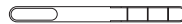
リチウムイオン充電電池
(BL-5C)



USBケーブル
(Type-A to Type-C)



HDMIケーブル
(HDMI to miniHDMI)



清掃用ブラシ



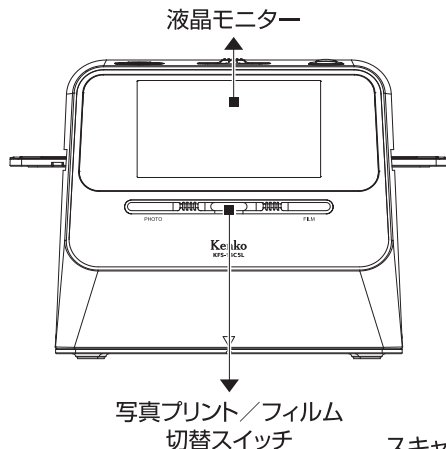
取扱説明書(本書)

※形状は異なる場合があります。

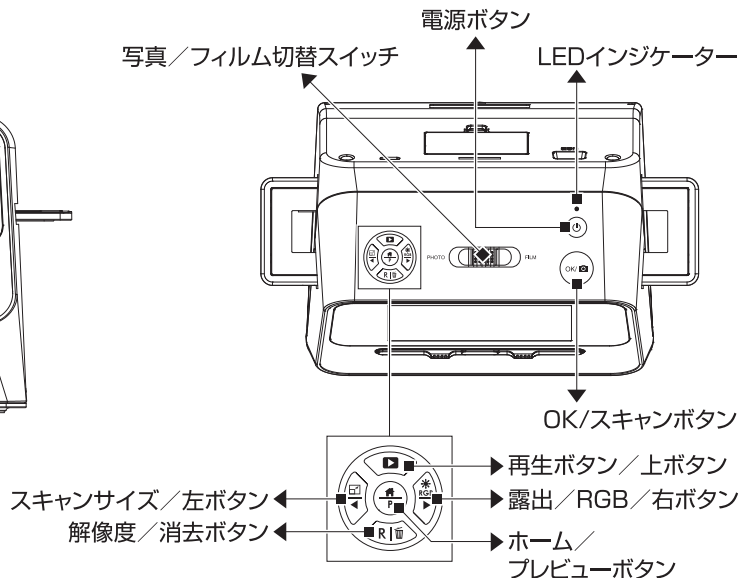
本製品の紹介

各部の名称

前面

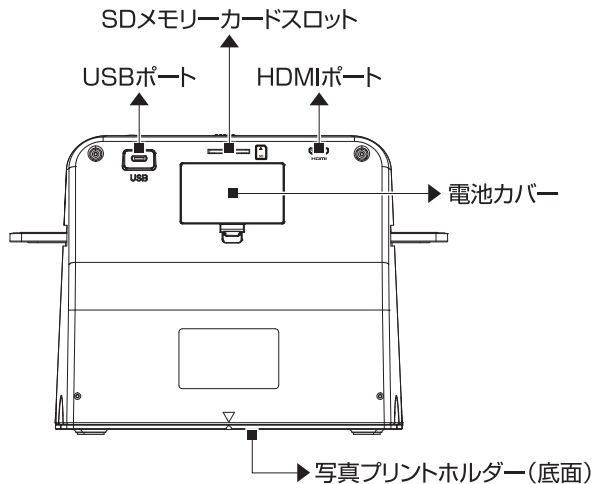


上面

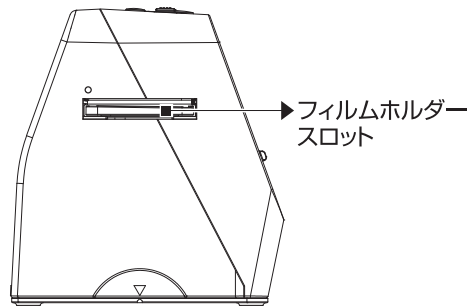


本製品の紹介

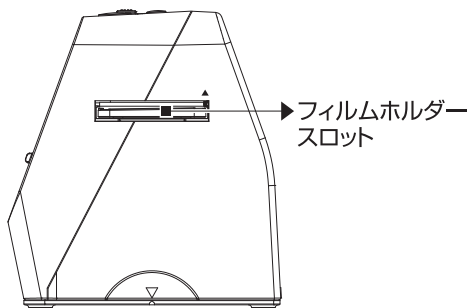
背面



左面



右面

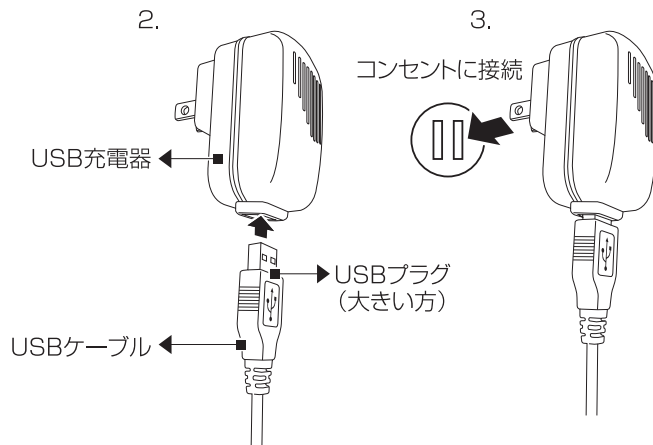
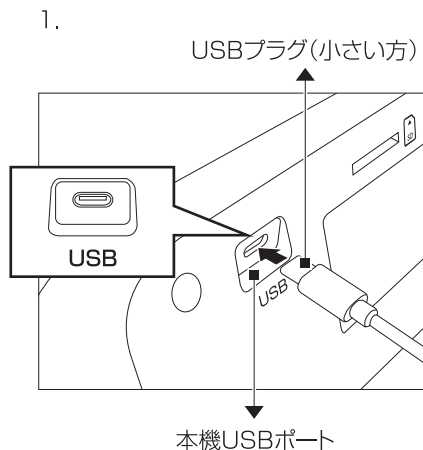


ご使用の前に

▶ 電源(USB充電器)の取り付け

本機と付属のUSB充電器を接続します。

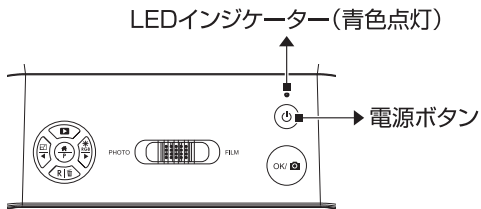
1. USBプラグ(小さい方)を本機背面のUSBポートに接続します。
2. USB充電器に付属のUSBケーブルのUSBプラグ(大きい方)を接続します。
3. USB充電器をコンセントに取り付けます。



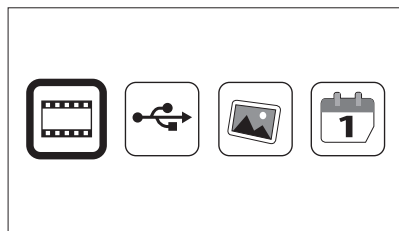
ご使用の前に

電源のオン／オフ

1. 電源ボタンを短押します。
青色の電源インジケータが点灯し、液晶モニターが表示されます。
2. 再度、電源ボタンを短押すると電源がオフになります。










1.



- ◆ バッテリー駆動の場合、何も操作を行わないで3分経つと電電がオフになります。
ただし、スライドショーで再生している場合は除きます。

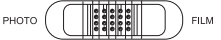

ご使用の前に

▶ ボタンの機能を紹介します

ボタン	名 称	機 能
	電源ボタン	電源をオン／オフします。
	OK/スキャンボタン	項目を選択時、決定します。 スキャンを開始します。
	ホーム/プレビューボタン	ホームメニューを表示します。 スキャンするフィルムをプレビューします。
	再生ボタン／上ボタン	再生モードにします。 項目選択時、上に移動します。 設定項目を移動します。
	スキャンサイズ／左ボタン	スキャンサイズを選択します。 項目選択時、左に移動します。
	露出／RGB／右ボタン	露出設定時、補正値を調整します。 RGB(色調)設定をします。 項目選択時、右に移動します。
	解像度／消去ボタン	スキャンするときの解像度を選択します。 ファイルの削除をします。

ご使用の前に

▶ スイッチの機能を紹介します

スイッチ	名 称	機 能
	写真／フィルム切替スイッチ	写真プリントとフィルムのモード切替をします。
	写真／フィルム切替スイッチ	写真プリントとフィルムのモード切替をします。

▶ LEDインジケータ表示

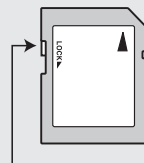
バッテリー内蔵	電源	LED	説 明
なし	オン	青点灯	電源がオン
なし	オフ	消 灯	電源がオフ
あり	オン	青点灯	電源がオン
あり	オフ	青点灯	BATT充電中
あり	オフ	消 灯	BATT充電完了

ご使用の前に

SDHCメモリーカードを使用する前に



- ◆ 新品のSDHCメモリーカードを使用する場合は、パソコンでフォーマットしてください。他のカメラ等の機器で使用したSDHCメモリーカードはパソコンでフォーマットしてください。
- ◆ SDHCメモリーカードをセットすると、スキャナーはSDHCメモリーカードを認識します。
 - パソコンに接続、データ転送中や、スキャン／再生中にSDHCメモリーカードを引き抜かない。パソコンとスキャナーを接続し、撮影したデータをパソコンに転送している最中や、スキャン中または再生中にSDHCメモリーカードをスキャナーから引き抜かないでください。スキャンした画像データ、SDHCメモリーカード、本体が破損する恐れがあります。
 - ライトプロテクトスイッチについて
SDHCメモリーカードにはライトプロテクトスイッチ機能がついています。下にスライドすると、SDHCメモリーカードはロックされ、SDHCメモリーカードへの記録／消去が禁止され、保存されている画像などのデータが保護されます。記録／消去する場合はロックを解除してください。
- ◆ P.16の注意事項をよくお読みになり、正しい取扱を行ってください。



ライトプロテクト
スイッチ

ご使用の前に

☞ ファイル名／ディレクトリ名を変更しない

パソコンでSDHCメモリーカードに保存されている画像データのファイル名やディレクトリ名を変更したり、記録されたデータ以外のファイルを書き込まないでください。本機で認識できなくなり、機能に障害がでる恐れがあります。

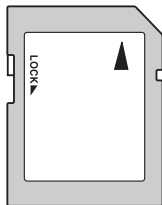


- SDHCメモリーカードは精密機器ですので、無理な力を加えたり、乱暴に扱わないでください。また、SDHCメモリーカードが静電気を帯びていると、うまく認識されなかったり、フィルムスキャナーの誤作動など障害が起こる恐れがあります。
- SDHCメモリーカードを使用中、誤作動や故障により記録内容が失われることがあります。記録されたデータの破損、消失につきましては、故障や損害の内容および原因にかかわらず、当社では一切の責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。
- SDHCメモリーカードに異常があると思われる場合は、フォーマットすることで正常に動作する場合があります。その際は、パソコンでフォーマットしてお試しください。（フォーマットすると、記録されている画像データは全て消失しますので、あらかじめご了承くださいの上、フォーマットを行ってください。必要に応じてデータをパソコンやCDにコピーしてからフォーマットしてください。）
- 電極部（金色の金属部分）が汚れてしまった場合は、乾いた清潔な布などで汚れを軽く拭き取ってください。

ご使用の前に

▶ SDHCメモリーカード(別売)を使用する。

本製品でスキャンした画像は、SDHCメモリーカードに記録されます。
SDHCメモリーカード(別売)を本機背面のSDHCメモリーカードスロットにセットしてください。
フィルムをスキャンすると自動的にSDHCメモリーカードに記録されます。



SDHCメモリーカード



- 本機に使用できるメモリーカードの仕様は、SDHCメモリーカード4GB～32GBまでです。
その他の種類のカードを使用しますと、製品及びカードが故障する可能性があります。
- SDHCメモリーカードによっては使用できないものがあります。

ご使用の前に

▶ SDHCメモリーカードのフォーマット



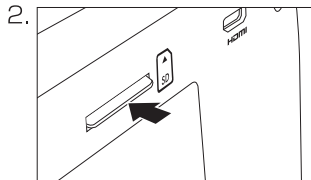
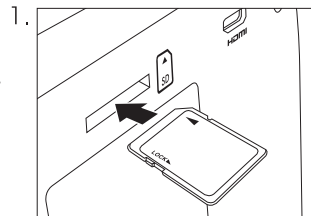
- 新品のSDHCメモリーカードを使用する場合は、パソコンでフォーマットしてください。他のカメラ等の機器で使用したSDHCメモリーカードはパソコンでフォーマットしてください。
- フォーマットを行うとSDHCメモリーカードに記録された全てのデータが消去され、初期化されますのでご注意ください。
- フォーマットをする前に必要に応じてファイルをパソコンやCDにコピーしてください。
- SDHCメモリーカードのライトプロテクトスイッチ(P.15参照)でロックしている場合、フォーマットは行われません。
- フォーマットした場合、ファイル番号は「0001」にリセットされます。パソコン内に同一番号のファイル名がある場合、パソコンに取り込むと上書き保存されますのでご注意ください。

ご使用の前に

▶ SDHCメモリーカードを取り付ける

SDHCメモリーカードは本機背面のSDHCメモリーカードスロットにセットします。

1. SDHCメモリーカードスロットにSDHCメモリーカードの接触面が本機底面側になるようにして、SDHCメモリーカードがカチッと音がするまで押し込みます。
2. SDHCメモリーカードを取り外す時は、SDHCメモリーカードがカチッと音がするまで軽く押し込みます。SDHCメモリーカードが少し飛び出ます。



- ◆ 新しいSDHCメモリーカードを使用される際は、あらかじめSDHCメモリーカードのフォーマット(初期化)(P.18参照)をしてください。
- ◆ スキャンしたファイルに付けられるファイル名の番号(00001)は、SDHCメモリーカード内のファイルを消去しても連続してカウントされます。



- 差し込みにくい時は、挿入する方向が間違っている可能性があります。無理に挿入しないでください。
- SDHCメモリーカードを本機から着脱する場合は、必ず本機の電源をオフにした状態で行ってください。
- すべてのSDメモリーカードで動作を保証するものではありません。
- 他のカメラ等で撮影したファイルが保存されたSDHCメモリーカードをセットすると、誤動作する場合があります。
- microSDHCメモリーカードのアダプターでの使用は、動作不良の原因となりますのでお勧めいたしません。

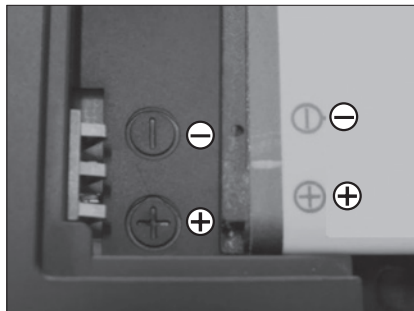
ご使用の前に

▶ リチウムイオン充電電池の取り付け

付属のUSB充電器のご使用以外にリチウムイオン充電電池でも動作いたします。

1. 本体背面の電池カバーを上を押しながら手前に引くと電池カバーが開きます。
2. 電池室内の電極 ⊕ ⊖ 表示に合わせてリチウムイオン充電電池をセットします。
3. 電池室カバーを閉めます。操作方法は、USB充電器使用時と同様です。
電池残量表示が液晶モニターに表示されます。

2.



ご使用の前に

📌 リチウムイオン充電電池の充電

1. 本体に充電電池を取り付けます。スキャナーの電源はオフにしてください。
 2. 「P.11」を参照して本機と付属のUSB充電器を接続します。
 3. 充電が開始されるとスキャナのLEDインジケーターが青く点灯します。
 4. 充電完了するとLEDインジケーターが消灯します。
- 充電電池は充電されておりませんので初めてご使用になるときはフル充電してからお使いください。
 - 充電時間の目安は2.5時間です。






- ◆ リチウムイオン充電電池をスキャナーから脱着する場合は、必ず電源をオフにした状態で行ってください。
- ◆ リチウムイオン充電電池は付属のもの以外使用しないでください。
付属以外のものを使用すると故障の原因になることがあります。
- ◆ 電極のショート、分解、加熱はしないでください。
- ◆ リチウムイオン充電電池に外観の膨らみ、液漏れなどの異常があった場合は直ちに使用を中止し、スキャナーから取り出してください。
- ◆ リチウムイオン充電電池単体で保管、持ち運びの際は安全のためプラスチックケース、ビニール袋などに入れてください。
- ◆ 使用環境および充電電池の状態により動作時間が減少します。
- ◆ スキャナーを長期間(1ヵ月以上)使用しない場合はリチウムイオン充電電池を取り出してください。
- ◆ リチウムイオン充電電池を取り出す時に、指、爪などを傷つけないようにご注意ください。
- ◆ 本製品を使用しない場合でも3ヵ月に1度はリチウムイオン充電電池を充電してください。定期的に充電しないと充電機能が衰えることがあります。またバッテリー残量が空の状態での保管しないでください。過放電となる恐れがあります。

ご使用の前に

▶ 日時の設定（初期設定）

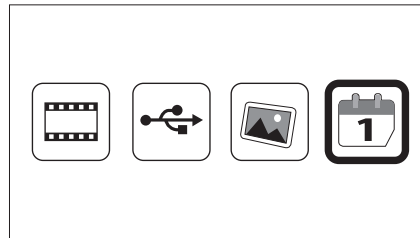
本機をご使用の前に、日時を設定します。

1. 電源をオンにします。
2. 右または左ボタンを押して、「日時設定 」を選択し、「OKボタン 」を押します。
3. 右または左ボタンを押して数値を調整し、再生ボタンを押して次の項目（例えば年→月）に移動します。選択されている項目は黄色地で表示されます。
4. 年／月／日の表示順位を変更する場合は、YY(年)／MM(月)／DD(日)の項目を選択し、右または左ボタンを押して、表示順位を決定します。
5. すべての数値の調整が終わりましたら、「OKボタン 」を押して、ホームメニューに戻ります。

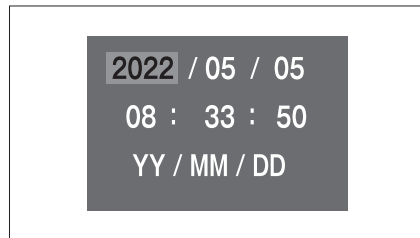


- ◆ 日付／時刻はスキャンデータにファイルデータとして記録されますのでできるだけ正確に設定してください。
- ◆ 電源オンの状態では日時が更新されます。一度電源を切ると日時設定がリセットされますので、スキャン前に日時を再設定してください。

2.



3.



※ 設定により表示されるアイコンは異なります。

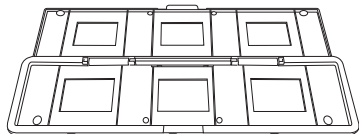
ご使用の前に

▶ フィルムホルダーにフィルムを取り付ける

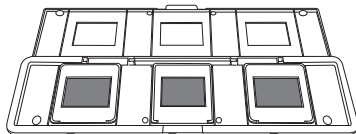
▶ マウント用ホルダーにセットする

1. マウント用ホルダーを開きます。
2. マウントされたリバーサル(ポジ・スライド)フィルムを装着します。
3. マウント用ホルダーを閉じます。

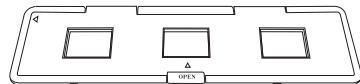
1.



2.



3.



◆ スキャンする写真の上下、表裏に注意してセットしてください。

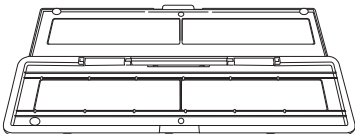
◆ ホルダーにフィルムを装着する際はフィルムに指紋や汚れなどがつかないように手袋をしてください。

ご使用前に

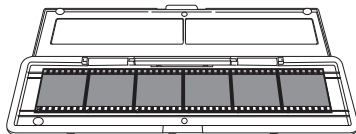
▶ 6コマ用ホルダーにセットする

1. 6コマ用ホルダーを開きます。
2. ネガフィルムを装着します。ホルダーの突起とパーフォレーション(穴)を合わせます。
3. 6コマ用ホルダーを閉じます。

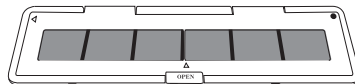
1.



2.



3.



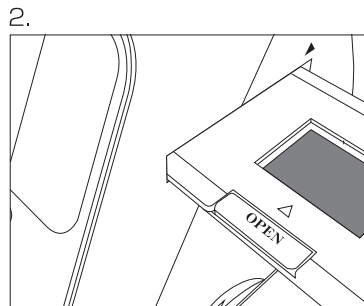
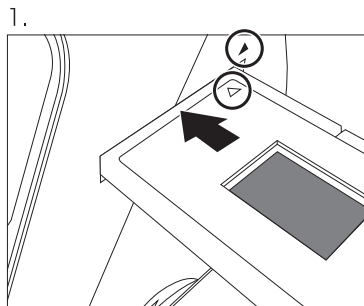
- ◆ マウントされていないリバーサル(ポジ・スライド)フィルムも、この6コマ用ホルダーを使用します。
- ◆ スキャンする写真の上下、表裏に注意してセットしてください。

ご使用の前に

▶ フィルムホルダーを挿入する

スキャンするフィルムを装着後、フィルムホルダーを本機に装着します。

1. 本機右側面のフィルムホルダースロット部の▲マークとフィルムホルダーの◀マークの位置を合わせ、フィルムホルダーを挿入します。
2. フィルムホルダーを左へスライドさせます。






スキャンする

④ フィルムをスキャンする

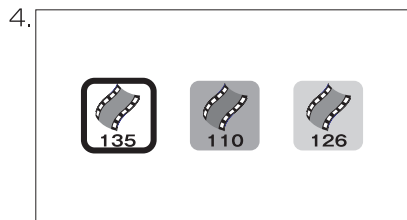
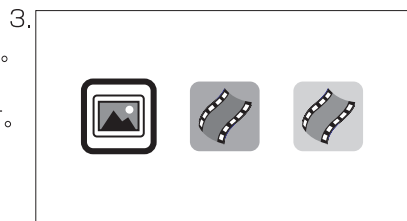
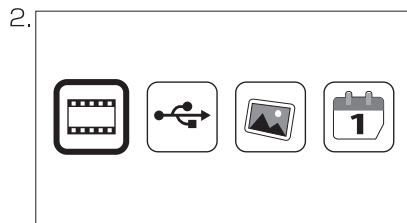
フィルムをスキャンして画像(デジタル)データを作成します。

電源をオンにします。

1. マウント用ホルダーにフィルムを装着(P.23~24参照)してフィルムホルダースロットに挿入します。(P.25参照)
2. 「フィルム選択モード 」を選択してOKボタンを押します。「フィルム選択モード 」はP.27をご覧ください。
3. フィルムタイプ(左からリバーサル/カラーネガ/白黒ネガ)を選択します。
4. フィルムサイズ(135/110/126)の中から選択し、OKボタンを押します。液晶モニターにフィルムの画像が表示されます。
5. 必要に応じて露出調整をします。P.29をご覧ください。
6. 必要に応じて色調調整をします。P.30をご覧ください。
7. 「OKボタン 」を押すとスキャンを開始し、砂時計が表示されます。
8. スキャンされたファイルはファイル番号が付けられ、SDHCメモリーカード内に保存されます。


















- ◆ 本体で表示される135アイコンは35mmフィルムのことです。
- ◆ 経年劣化しているフィルムをご使用されますと、全体が偏った色になったり褪色した画像データになる可能性があります。



※ 設定により表示されるアイコンは異なります。

スキャンする

📁 フィルム選択の手順

フィルムタイプ		下記フィルムサイズ選択後、OKボタンを押します
 リバーサルフィルム	➡️  OKボタンを押します	➡️  35mmフィルム
		➡️  110フィルム
		➡️  126フィルム
 カラーネガフィルム	➡️  OKボタンを押します	➡️  35mmフィルム
		➡️  110フィルム
		➡️  126フィルム
 白黒ネガフィルム	➡️  OKボタンを押します	➡️  35mmフィルム
		➡️  110フィルム
		➡️  126フィルム





◆ 本体で表示される135アイコンは35mmフィルムのことです。

スキャンする

▶ 解像度の設定（標準・補間選択）

解像度を設定します。

1. 「解像度／消去ボタン 」を押します。
2. 「解像度／消去ボタン 」を押すたびに14M、22Mが切り替わります。

14M 標準：35mm：4320×2880、110：2000×1504、126：3248×3248ピクセル

22M 補間：35mm：5728×3824、110：2880×2160、126：4432×4432ピクセル

2.



解像度アイコン(14M)



解像度アイコン(22M)



- ◆ **14M** / **22M** アイコンは、どのフィルムでも共通で表示されます。
選択中の解像度が標準／補間のどちらなのかを示します。

スキャンする

▶ 露出の設定 (EV)

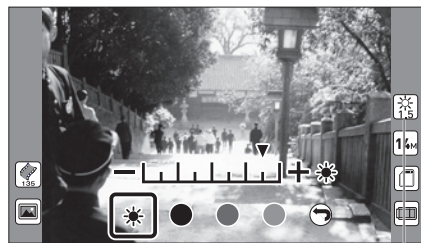
スキャンする写真の明るさを設定します。

1. 「露出／RGB／右ボタン」を押します。
2. 右または左ボタンを押して、補正値を選択します。
補正範囲は-2～+2(0.5EVステップ)です。
3. 「OKボタン」押すと設定が終了し、露出アイコンの数値が変更されます。スキャンモードに戻ります。

2.



露出アイコン(0.0)



露出アイコン(1.5)

スキャンする

色調(RGB)の設定

スキャンする写真の色調を設定します。

1. 「露出／RGB／右ボタン」を押します。
再生ボタンを押します。
2. 右または左ボタンを押して、補正値を選択します。補正範囲は-2～+2(0.5ステップ)です。
3. 「再生ボタン」を押すごとに「R」「G」「B」カラーの補正を行います。
「」を選択し、「OKボタン」を押すと色調設定をリセットしてスキャンモードに戻ります。
4. 補正を終了し、「OKボタン」を押すと、スキャンモードに戻ります。



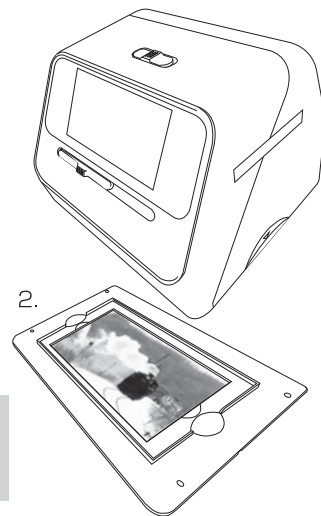
◆ 白黒フィルムの時も色調機能設定が有効ですが、明るさが変わりますが色合いは変わりません。

スキャンする

写真プリントの装着

はじめにフィルムホルダーを取りはずしてください。
スキャンする写真プリントを写真プリントホルダーに装着します。

1. 本機底面の写真プリントホルダーを取り外します。
2. 写真プリントホルダーのくぼみに、
写真プリントサイズに合わせてセットします。
3. 写真プリントホルダーに本機を載せてを閉じます。



- 本機底面の写真プリントホルダーと本体はマグネットで接合しています。
写真プリントホルダー取り外し時の取り扱い、破損にご注意ください。



- ◆ 装着できる写真プリントのサイズはP.34をご覧ください。
- ◆ スキャンする写真の上下に注意してセットしてください。
- ◆ 写真プリントホルダーを外してアルバムに直接のせてスキャンすることもできます。
- ◆ 写真プリントをセットする際、本体と写真プリントホルダー間に指先をはさまないようにご注意ください。

スキャンする

▶ 写真プリントをスキャンする

写真プリントをスキャンして画像(デジタル)データを作成します。

1. 写真プリントを写真プリントホルダーにセットします。(P.31参照)
2. 本体上部と前面の
写真プリント／フィルムスキャンモード切替スイッチを
「PHOTO」に設定します。
3. スキャンサイズ／左ボタンを押して
「写真サイズ選択モード」を選択します。
「写真サイズ選択モード」はP.34をご覧ください。
4. 必要に応じて露出調整、色調調整をします。
P.29をご覧ください。
5. OKボタンを押すとスキャンを開始し、砂時計が表示されます。
6. スキャンされたファイルはファイル番号が付けられ、
SDHCメモリーカード内に保存されます。

5.








- 本機内部のLEDライト発光部を見ることは絶対にしないでください。
失明などの永久視力障害の原因となります。

スキャンする

☒ 写真プリントスキャンモードの画面表示



1	PHOTO: 4×6"	写真プリントサイズ(4×6サイズ)
2		スキャンモード(写真プリント)
3		露出(0.0)
4		解像度選択(22M)
5		SDHCメモリーカード(装着中)
6		電池残量(電源オン)



- ◆ 写真プリントにホコリ等が付着している場合、写真プリントと共にスキャンされますので、スキャン前に清掃してください。
- ◆ 冬場は特に、静電気の発生によりホコリ等が付着しやすくなりますのでご注意ください。

スキャンする

☞ 写真サイズ選択モード

スキャンする写真プリントのサイズを設定します。

左ボタンを押してスキャンする写真プリントのサイズを選択します。

左ボタンを押すごとにフィルムの種類が切り替わります。



写真プリントスキャンサイズ

4×6”	4×6サイズ
3.5×5”	3.5×5サイズ
4×4”	4×4サイズ
4.2×3.2”	4.2×3.2サイズ
3.4×2.1”	3.4×2.1サイズ

スキャンする

▶ 露出の設定

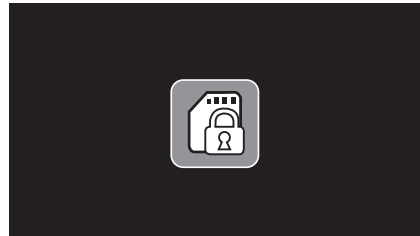
P.29「露出の設定」をご覧ください。

▶ カードロック

SDHCメモリーカードのライトプロテクトスイッチがLOCK側になっているとスキャンデータをSDHCメモリーカードに保存できません。

液晶モニターに「 アイコン」が表示されます。


SDHCメモリーカードを取り出し、SDHCメモリーカードのライトプロテクトスイッチを解除し、再度本体にセットしてください。

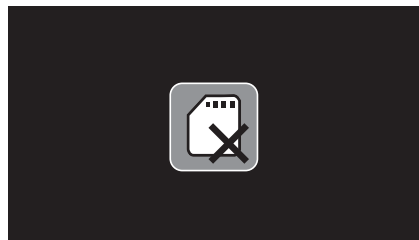


◆ ライトプロテクトスイッチはP.15「SDHCメモリーカードを使用する前に」をご覧ください。


スキャンする

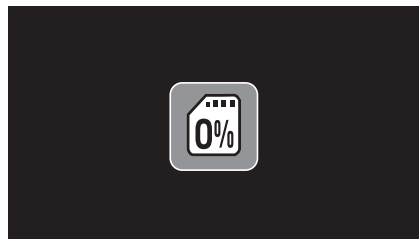
▶ カードエラー

本機がSDHCメモリーカードを認識しない場合、液晶モニターに「 アイコン」が表示されます。別のSDHCメモリーカードをセットしてください。



▶ カードフル

SDHCメモリーカードが一杯になると、液晶モニターに「 アイコン」が表示されます。画像ファイルをパソコンに移動するか、新しいSDHCメモリーカードをセットしてください。





再生モード

再生モード (フォトフレームモード)


SDHCメモリーカードに保存された画像ファイルを液晶モニターに表示します。

電源をオンにします。

1. メニューが表示されます。

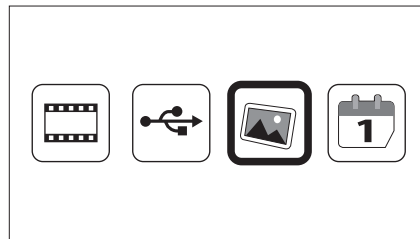
右または左ボタンを押して「再生モード」を選択し、「OKボタン」を押します。

SDHCメモリーカードに保存されたファイルが液晶モニターに9分割サムネイル表示されます。

2. 右または左ボタンを押して「ピンク枠」を移動し、表示するファイルを選択し、「OKボタン」を押します。

● 次ページに続く

1.







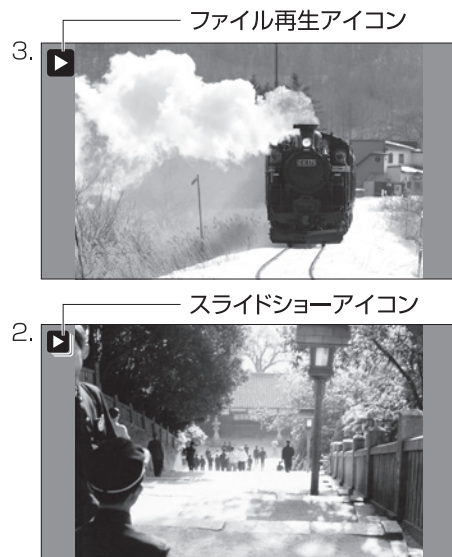
2.



ピンク枠

再生モード

- 前ページより続き
3. 選択したファイルが液晶モニターに表示されます。
液晶モニターに「 アイコン」が表示されます。
再生中、右または左ボタンを押すとファイルが移動し、液晶モニターに表示されます。
 4. 再生中、「再生ボタン 」押すと、
液晶モニターに「 アイコン」が表示されスライドショーを開始します。
1つのファイルを約5秒間隔で液晶モニターに表示します。
 5. 再度、「再生ボタン」を押すと1枚再生モードになります。
 6. ファイルの再生を終了する場合は、
「ホーム/プレビュー 」ボタンを押します。
メニュー画面に戻ります。



◆ スライドショーで再生することにより、本機をフォトフレームとしてお楽しみいただけます。



再生モード

🔍 ファイルの削除

不要なファイルを削除します。

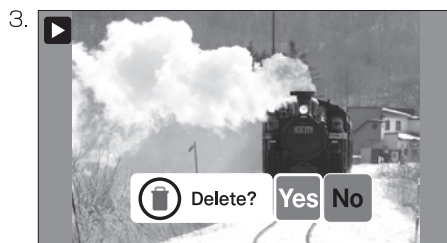
🔍 1枚削除

再生モードにします。

1. 9分割サムネイル表示時、右または左ボタンを押して「ピンク枠」を移動し、削除したいファイルを選択しOKボタンを押します。
2. 削除したいファイルが液晶モニターに表示されます。「解像度/消去ボタン 」を押します。
3. 右または左ボタンを押して下記のいずれかを選択し、「OKボタン 」を押します。

Yes : ファイルを削除します。

No : ファイルを削除しません。





◆ 削除したファイルは元に戻りませんのでご注意ください。

再生モード

🔍 全て削除

再生モードにします。

1. 分割サムネイル表示時、右または左ボタンを押して「ピンク枠」を移動し、削除したいファイルを選択しOKボタンを押します。
2. 削除したいファイルが液晶モニターに表示されます。「解像度／消去ボタン 」を2回押します。
3. 右または左ボタンを押して下記のいずれかを選択し、「OKボタン 」を押します。

Yes : ファイルをすべて削除します。

No : ファイルを削除しません。



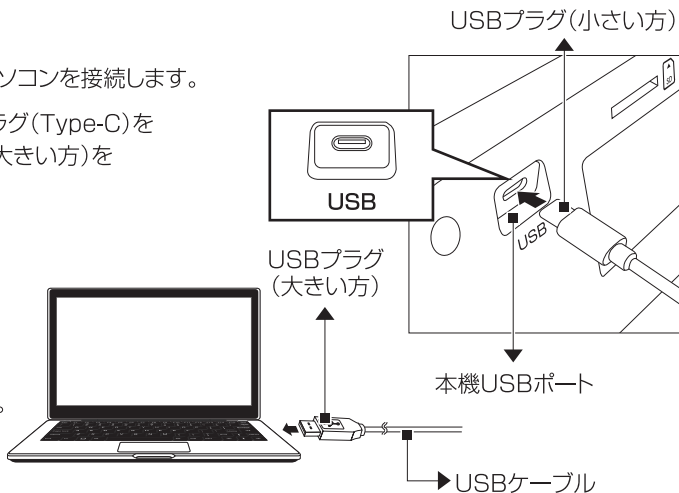
◆ 削除したファイルは元に戻りませんのでご注意ください。

パソコンとの接続

▶ パソコンと接続する

付属のUSBケーブルを使用して、本機とパソコンを接続します。

1. 付属のUSBケーブルの小さいUSBプラグ(Type-C)を本機に接続し、もう一方のUSBプラグ(大きい方)をパソコンに接続します。
2. 本機の電源をオンにします。
3. 本機を「USBモード」にします。
P.42「USBモード」をご覧ください。
4. パソコンが本機を認識するとSDHCメモリーカード内の画像ファイルをパソコンに取り込みます。
5. パソコンとの接続を解除する時は、「ホーム/プレビューボタン (⏪)」を押します。




- ◆ お使いのパソコンのOS・バージョン等により表示は異なります。
- ◆ パソコンで再生する場合は、記録ファイルをパソコンにコピーしてから再生してください。
- ◆ パソコンの一部機種の設定、構成によっては正常に動作しない場合があります。あらかじめご了承ください。
- ◆ USBケーブルを取り外す際は、各OSで定められた手順で行ってください。

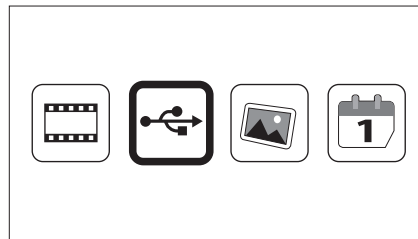
USBモード

▶ USBモード

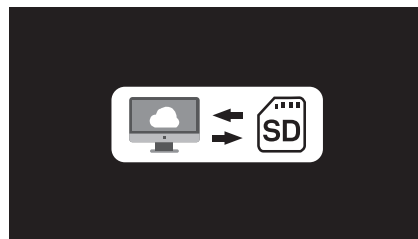
本機とパソコンの通信を設定します。

1. 電源をオンにします。
右または左ボタンで「USBモード」を選択し、OKボタンを押して決定します。
2. パソコンと接続されます。
パソコンと接続中は、液晶モニターは図2のようになります。
3. パソコンとの接続を解除する時は、ホーム/プレビューボタンを押します。

1.



2.



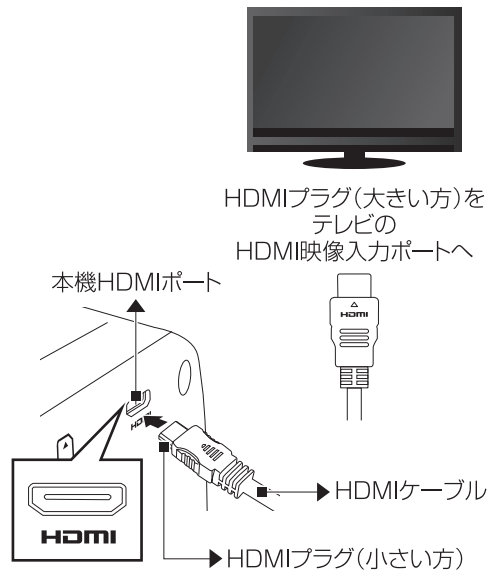
◆ パソコンと接続中は「USBドライブ」として認識されます。

テレビと接続する

▶ テレビにHDMIで接続する

付属のHDMIケーブルを使用して、本機とテレビを接続します。

1. 本機とテレビの電源をオンにします。
2. 下図を参考に付属のHDMIプラグ(小さい方)をスキャナーのHDMIポートに接続します。
3. HDMIプラグのもう一方(大きい方)をテレビのHDMI映像入力ポートに接続します。
4. テレビの入力切替をします。
テレビにスキャナーの画像が表示されます。
5. 画像をテレビで再生(スライドショー)します。
再生の手順は、本機の液晶モニター使用時と同様です。
6. HDMIケーブルを抜く場合は
本機の電源をオフにしてから行ってください。



- ◆ テレビのポート位置および操作はお使いのハイビジョンテレビの取扱説明書をご覧ください。
- ◆ テレビと接続中は本機の液晶モニターは点灯しません。

プリントする

▶ プリントする

スキャンした画像をプリントする場合は、保存したフォルダから直接プリンタへ出力するか、CD-ROM等にコピーしてからカメラ店等に依頼してください。
あるいは別売のSDHCメモリーカード(この場合、プリント用SDHCメモリーカードを別に用意すると削除や上書き保存のトラブルの防止になります。)にコピーしてカメラ店あるいは家電量販店等のスタンド式プリンターからもプリントできます。



- ◆ SDHCメモリーカードに保存した画像をデジタルフォトフレームでお楽しみいただけます。
お使いのデジタルフォトフレームの取扱説明書をご覧ください。

故障かなと思ったら

☞ こんな時は

「故障かな?」と思ったらもう一度確認、点検してください。

【症 状】 電源が入らない

【原 因】 USB充電器にUSBケーブルが正しく取り付けされていないのでは?

【対 策】 USB充電器にUSBケーブルを正しく取り付けしてください。(P.11参照)

【症 状】 画像が保存されない

【原 因】 画像が保存される前に電源やSDHCメモリーカードを取り外したのでは?

【対 策】 画像が保存される前に電源やSDHCメモリーカードを取り外さないでください。

【症 状】 SDHCメモリーカードが使用できない。

【原 因】 SDHCメモリーカードがロックされているのでは?

【対 策】 SDHCメモリーカードに付いている“ライトプロテクトスイッチ”がロックされていると、データの記録・消去を行うことができません。ロックを解除してください。(P.15参照)

故障かなと思ったら

【症状】 すべてのボタンが作動しない

【原因】 ソフトウェアおよびハードウェアが何らかの影響を受けたのでは？

【対策】 USBケーブルを一度外してください。(P.11参照)

【症状】 カードフルと表示される

【原因】 SDHCメモリーカードが一杯です。

【対策】 不要な画像を削除するか、パソコンにSDHCメモリーカードのデータを移動する。
または、新しいSDHCメモリーカードをフォーマットしてご使用ください。

【症状】 黒い点等の影が映り込む

【原因】 スキャナー本体の発光板にゴミ等の異物が付着したのでは？

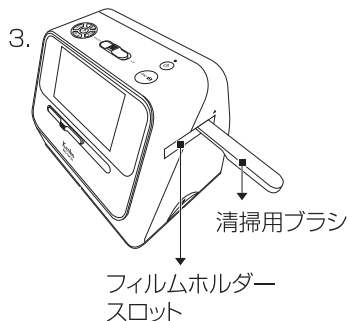
【対策】 付属の清掃用ブラシでゴミを取り除いてください。
冬場は特に静電気が発生し、ゴミが付着しやすくなります。
また、清掃用ブラシを使用する際、撮影したフィルムを誤って擦ると、
フィルムにキズがついてしまいますのでお取り扱いに注意してください。

故障かなと思ったら

▶ 付属清掃用ブラシの使用方法

図を参考にフィルムホルダー内の汚れ・ホコリ等の清掃を定期的に行ってください。

1. 電源をオンにします。
2. フィルムスキャンモードにします。本体内部の発光板が点灯します。
3. 本機右のフィルムホルダースロットから清掃用ブラシを挿しこみます。
4. 清掃用ブラシで発光板を一方向に数回なぞります。
5. 清掃用ブラシを奥から手前になぞり清掃用ブラシを引き出します。
6. 清掃用ブラシで取れない異物が発光板に付着している場合は、お手持ちのレンズクリーナー液を綿棒等のにじませ軽くこすってください。その後、4.5.の操作を行ってください。



記録可能枚数の目安

▶ 記録可能枚数の目安

フィルム記録枚数

フィルムサイズ	SDHCメモリーカード	
	4GB	32GB
135	884枚	7138枚
110	3541枚	28556枚
126	1062枚	8566枚

写真記録枚数

スキャンサイズ	SDHCメモリーカード	
	4GB	32GB
4×6	1544枚	12460枚
3.5×5	2162枚	17444枚
4×4	2457枚	19824枚
4.2×3.2	2703枚	21807枚
3.4×2.1	4507枚	36344枚



◆ スキャンするフィルム、写真プリント、撮影条件によりデータ容量が一定でないため、記録可能枚数に差が出ます。上記の表は目安としてご参考ください。

仕様

仕様

イメージセンサー	1500万画素 1/2.3型 CMOS	
有効画素数	1240万画素(35mmフィルムスキャン時)	
焦点距離	f=5.2mm	
液晶モニター	5インチ IPS(854×480ピクセル)	
内蔵メモリー	ユーザー使用領域はありません	
外部メモリーカード	SDHCメモリーカード: 4GB~32GB	
露出補正	9段階	
スキャン解像度	フィルム: 約3200dpi 写真 : 約700dpi	
画像形式	JPEG	
対応フィルム	35mm	カラーネガフィルム カラーリバーサルフィルム 白黒ネガフィルム
	110	カラーネガフィルム カラーリバーサルフィルム 白黒ネガフィルム
	126	カラーネガフィルム カラーリバーサルフィルム 白黒ネガフィルム

※110ネガフィルム、126ネガフィルムをスキャンするには
各々別売のオプションフィルムホルダーが必要です。

スキャンエリア	35mm: 約21.5×32.3mm 110: 約11×14.5mm 126: 約22.5×23mm
	プリントスキャン 4×6: 約96×144mm プリントスキャン 3.5×5: 約83×122mm プリントスキャン 4×4: 約94×94mm プリントスキャン 4.2×3.2: 約81×108mm プリントスキャン 3.4×2.1: 約45×81mm
	対応写真サイズ 4×6、3.5×5、4×4、4.2×3.2 3.4×2.1インチ
	光源 フィルム: 白色LEDバックライト×1 フォト : 白色LED×2列
出入力ポート	USB 2.0、HDMI出力
電源	USB充電器 リチウムイオン充電電池(3.7V 1050mAh)
定格電圧	DC5V
定格電流	1A
寸法	約209(W)×162(D)×182(H)mm
質量	約1075g (付属品、SDHCメモリーカードを含まず)

仕様

■ 同梱品

本体、USB充電器、リチウムイオン充電電池 (BL-5C)、USBケーブル、HDMIケーブル
マウント用ホルダー、6コマ用ホルダー、清掃用ブラシ、取扱説明書

仕様

▶ パソコンの動作環境

本体とパソコンをUSB接続にて使用する場合、以下の条件を満たすパソコンが必要となります。

- 下記OSがプリインストールされたパソコン
- USBインターフェース(2.0以上)を標準装備したパソコン

Windows対応OS
8(32/64bit)／8.1(32/64bit) ／10(32/64bit)／11

Macintosh対応OS
macOS 12.3.1

動作保証について

- 上記動作環境は最低限の条件を満たした仕様です。ご使用のOSに対応した動作環境が必要になります。
- 動作環境を満たすパソコンの中でも、一部機種の設定、構成により正常に動作しない場合があります。あらかじめご了承ください。
- 各OSからアップグレードしたパソコンでは動作保証致しません。
- USBハブや拡張USBポートに接続した状態での使用、自作機および改造を加えたパソコンについては動作保証いたしません。
- SDHCメモリーカードによっては使用できないものがあります。
- 本体で表示される135アイコンは35mmフィルムのことです。
- 記載の商品名、会社名は各社の商標もしくは登録商標です。
- 仕様や外観は製品改良等のため予告なく変更をする場合もありますのでご了承ください。

オプション

▶ オプション製品

本製品のオプション製品です。

オプション製品については、ケンコー・トキナーのホームページをご覧ください。



110ネガフィルム用フィルムホルダー



126ネガフィルム用フィルムホルダー



▲▲▲
製品について
詳しくはコチラ

保証規定

保証期間:お買上げ日より1年間

- (1) 修理の際は必ずお買上げ店舗のレシートを添付のうえ、ご購入店またはケンコー・トキナーお客様相談室までお申し付けください。
 - (2) お買上げ店舗のレシートの添付なき場合は有料修理となります。
 - (3) 正常な取り扱い中に故障を生じた場合以外は有料修理となります。(下記①～⑧など)
 - ① 取扱いの乱用、使用法の誤りによる故障
 - ② 保存上の不備のため湿度などによって生じた故障
 - ③ 火災や浸水・天災によって生じた故障
 - ④ 当社以外の場所にての修理・改造・分解による故障
 - ⑤ その他類似的起因による故障
 - ⑥ 消耗品(LED等)のお取り替え
 - ⑦ 落下、衝撃、砂、泥かぶり、冠水、浸水などによる故障
 - ⑧ 個人売買およびオークションなどでご購入の場合
 - (4) ご購入年月日・ご購入店名のなきものは無効です。
 - (5) レシートは大切に保管してください。
 - (6) 修理品に送料が掛かった場合はお客様にてご負担です。
 - (7) 当社製品を使用して付随製品が故障した際の保証は致しません。メモリーの破損やデータの消失などに関しては一切の責任を負いかねます。
 - (8) 出張による点検・修理・取扱説明・設定等には無償・有償を問わず対応しておりませんので、あらかじめご了承ください。
 - (9) 本保証は日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.
 - (10) 本保証は保証規定により無償修理を約束するもので、これによりお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
- [お願い]
修理に関しましては修理箇所、内容を明確にご指示ください。

■個人情報について

※本保証を通じてお客様からご提供いただいた個人情報を、修理完了後、速やかに廃棄いたします。

※ご協力いただきました記入事項につきましては、ご提供いただきました個人情報のうち、年齢・性別等個人を識別、あるいは特定できない情報と関連付け、統計的データに加工して利用する場合があります。

※当社は、お客様の個人情報を第三者へ開示いたしません。但し、以下の場合を除きます。

●お客様の承諾を得た場合。

●お客様の明示した利用目的の達成に必要な範囲内において、業務委託先に個人情報を開示する場合。但し、この場合に当社は、法令上、個人情報の安全管理が図られるよう、当該業務委託先に対して必要かつ適切な監督義務を負います。

発売元：株式会社 ケンコー・トキナー

〒164-8616 東京都中野区中野5-68-10 KT中野ビル



▲▲▲
製品について
詳しくはコチラ

ケンコー・トキナーホームページ
<https://www.kenko-tokina.co.jp/>

★ 製品に関するお問い合わせ



お客様お問合せフォームはこちらのQRコードから。
パソコンからは、
「ケンコー・トキナーお問い合わせ」で検索。

ケンコー・トキナーお客様相談室



0120-775-818

携帯・IP電話からは

03-6840-3389 ※通話料金がかかります。

受付時間：月～金 9:15～17:30(土、日、祝日、年末年始、夏季休業等を除く)

メモ

